

第1編 総論

I プラン策定の趣旨

本県は、標高3,000m級の山々から富山湾に至る雄大な自然の中、美しく豊かな水を育む森林地帯、街に潤いを与える花々や木々、田園地帯を彩るチューリップ畑やシバザクラ、白砂青松と呼ばれる海岸松林など多くの花や緑に囲まれた、全国に誇れる美しい県です。

このような素晴らしい花と緑豊かな景観を保全し、住みよい富山県をつくるため、1973(S48)年9月に「グリーンプラン」を策定し、その後4次にわたる県土緑化計画の策定を経て、2012(H24)年に新たな県土緑化プランとして「花と緑の元気とやま推進プラン」を策定してきました。

こうしたプランに基づき、これまでも県民と行政が一体となった緑化活動を実施した結果、花と緑に彩られた快適な環境づくりが着実に進んできたところ です。

さらに2012(H24)年の台湾からの直行便就航や、大型クルーズ客船の伏木富山港への寄港、2015(H27)年の北陸新幹線開業など、国内は元より国外からも多くの観光客・ビジネス客が訪れるようになり、本県の美しい自然や花と緑を楽しんでいただけるようになりました。

一方、2016(H28)年には106万人であった富山県人口は2026(R8)年には98万人に減少するとの推計があるほか、65歳以上の高齢人口比率についても2016(H28)年の30.8%から2026(R8)年には33.8%に増加するとの推計もあり、進行する人口減少・高齢化社会にあっては、これまで期待されていたマンパワーの減少は避けられない状況です。

こうしたなか、2018(H30)年3月に富山県総合計画が見直され「元気とやま創造計画 - とやま新時代へ 新たな挑戦 - 」が策定されました。人づくりに重きを置いた新総合計画に呼応して、県土緑化プランを見直し、新たに「花と緑の元気とやま創造プラン」を策定することとしました。

このプランでは、総合計画における展開目標「ふるさとの魅力を活かした地域づくり」を達成するため、「県民緑化運動の推進と花と緑のあふれる地域づくり」を進めることとしています。

II プランの方針

本プランでは、少子高齢化の進行と人口減少社会の進展のなかで、自らの県土を自らが守り育てていくという県民意識の醸成を図り、子どもから若者、シニア世代までの世代を超えた活動の広がりを一層進めていくとともに、人生百年時代による「エイジレス社会(生涯現役社会)」を見据え、シニア世代が意欲や能力に応じて地域緑化の担い手として生涯活躍していただくなど県民が中心的な役割を担った緑化活動を推進していくことを基本方針とします。

県は、県民が行う緑化活動の資金・技術面での支援、活動が低調な地域の重点的な取組み、緑化活動に顕著な功績がみられる県民の表彰など、県民の緑化活動を促進し、基盤整備を行うことを主たる役割とします。

このように県民と行政が連携して、県民をはじめ本県を訪れる人々にとって魅力ある花と緑の空間をつくっていきます。



Ⅲ プランの基本目標

花と緑の県づくりを進めるためには、県民が花と緑と交流を深めながら、花と緑を大切にしていけることが求められます。花と緑、そして人が共に生き、共に輝き、元気な富山県をつくるために、「花と緑が輝く元気とやまの創造」を目標に、県民が主役の花と緑の県づくりをすすめていきます。

花と緑と人が輝く元気とやまの創造

具体的な目標指標

項目		2016 (H.28)年度	2021 (R.3)年度	2026 (R.8)年度
		実績値	中間値	目標値
○花と緑のグループ等が育成する花壇数	箇所	2,874	2,890	2,900
○道路愛護ボランティア登録団体数	団体	97	102	105
○とやまさくら守の養成人数	人	72	86	100
○花と緑の指導者(*1)数	人	2,176	2,200	2,200
○植物公園の箇所数	箇所	8	現状維持	
○植物公園の年間入園者数	人	449,490	460,000	471,000
○港湾緑地面積	ha	65	68	70
○都市公園の面積	ha	1,618	1,638	1,661
○文化財公園の箇所数	箇所	23	26	28
○小中学校の緑地面積	ha	54	現状維持	
○県立学校の緑地面積	ha	55	現状維持	
○公共施設の緑地面積割合	%	20%以上	現状維持	
○工場の緑地面積	ha	586	599	611
○県管理道路の緑化延長	km	241	250	260
○「多面的機能支払(農地維持支払)」の取組集落数	集落	1,406	1,500	1,600
○「多面的機能支払」の参加者数	人	66,756	68,000	69,000
○漁港緑地面積	ha	16	現状維持	
○海岸林整備延長	m	6,288	6,600	6,800
○県定公園面積	ha	16,829	現状維持	
○自然公園面積	ha	125,554	現状維持	
○自然環境保全地域面積	ha	624	現状維持	
○里山林の整備面積(累計)	ha	2,628	3,600	4,600
○混交林の整備面積(累計)	ha	1,290	1,550	1,800
○優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の植栽面積	ha	42	200	500
○県民参加による森づくりの年間参加延べ人数	人	12,439	13,000	13,000 以上
○保安林面積	ha	196,798	197,158	197,518
○国産チューリップ球根出荷量の富山県産シェア	%	61	現状維持	
○切花・鉢物類栽培面積	ha	66	70	74
○ナチュラルリスト認定者数	人	784	900	1,000
○ジュニアナチュラルリスト認定者数	人	328	390	420
○花とみどりの少年団員数	人	4,468	4,500	4,500
○森林浴の森選定箇所数	箇所	60	現状維持	

(*1)花と緑の指導者

(公財)花と緑の銀行によって地域緑化を委嘱されている頭取・グリーンキーパーを指す。詳細は9ページ参照。

Ⅳ プランの位置づけ等

1 プランの位置づけ

このプランは、富山県総合計画「元気とやま創造計画 - とやま新時代へ 新たな挑戦 - 」における部門計画として、花と緑の県づくりの基本的な指針を示します。



2 プランの目標年次

目標年次は、2026（令和8）年度とします。

～「緑化」と「緑花」～

樹木や草花を植えて、緑の美しい土地にすることを一般的には「緑化」といいますが、本県独自の計画、組織等については基本目標「花と緑と人が輝く元気とやまの創造」を推進してゆく観点から「緑花」と表現します。

例：県土緑花計画、富山県緑花推進県民会議、市町村緑花計画

Ⅴ 施策の体系

「花と緑と人が輝く元気とやまの創造」を推進するため、「花と緑をすすめる」、「花と緑をはぐくむ」、「花と緑にふれあう」の3つの柱をもとに、各種の施策を実行していきます。

